

# サミット、環境問題を学ぶ

## 北海道新聞

発行所  
北海道新聞社

郵便番号 060-8711  
札幌市中央区大通西3-6  
電話 011(221)2111  
©北海道新聞社 2008

### 速報

インターネットで道新ニュース  
www.hokkaido-np.co.jp

ご購読申し込みは  
0120-464-104



大図解、道新小学生新聞など面白さ、いっぱい！  
週刊  
プラットフォーム  
北海道新聞の土曜夕刊で読めるよ

道新・道新スポーツ  
お申し込みは  
道新白鳥台販売所  
室蘭市白鳥台2-42-1  
TEL 0143-59-6873

## 室工大、道新 室蘭・陣屋小で出前講座

七月の北海道洞爺湖サミットに向け、子どもたちの関心を高めようと、室蘭工業大と北海道新聞室蘭支社は九日、室蘭市立陣屋小(斎藤寛校長)でサミット出前講座を開いた。サミットの歴史や意義に加え、議題となる環境問題について室工大教員や道新記者がスクリーンを使って解説した。

### 室工大 松山教授 香りと光の秘密を紹介

室工大と道新が二〇〇七年三月、地域貢献や情報発信を目指して始めた「ひとものプロジェクト」の一環。陣屋小五、六年生十三人が参加した。

心地良い香りの成分や、ホタルの発光の仕組みを応用したライトを示しながら、「身近なところにも科学があふれています」と指摘した。

議題などを解説した後、サミット取材の体験談も披露。「北海道で初めてのサミット。各国政府や警備、報道関係者が多数訪れます。注目してみてください。明日を担う皆さん、洞爺湖で議論される環境問題など世界のいろいろなことに興味を持ち、視野を広げてもらいたい。そのお手伝いができなにかと考えたのが出前講座でした。今日からサミットに関するニュースや記事に少しでも目が向くようになっただけでも、ほんの少しはいいことではないでしょうか。

サミットや身近な環境問題を解説した出前講座。ラベンダーの香りを子供たちにかいでもらう松山春男室工大教授



### 出前講座で学んだ



### 陣屋小学校のみなさん

この出前講座で、サミットが身近にもなってきたでしょうか？



この出前講座で、サミットが身近にもなってきたでしょうか？



【ドイツ】

メルケル首相はドイツ史上初の女性首相として知られていますが、その経歴は政治家としては、ちょっとユニークです。もともと彼女は何をしていた？

- ① 物理学者
- ② 数学者
- ③ 天文学者



【日本】

日本では過去4回、サミットが開かれています。最初の3回は東京でしたが、2000年は東京以外で開催されました。さて、メーンの会場はどこだったでしょう。

- ① 大阪府
- ② 神奈川県
- ③ 沖縄県



【カナダ】

豊かな自然で知られる、カナダは第1回のサミットには参加していませんでした。その後、参加することになるのですが、さて、何回目から参加した？

- ① 2回目
- ② 10回目
- ③ 13回目



【ロシア】

ロシアがサミットに正式に参加したのは1997年から。その後、ロシアでもサミットが開かれましたが、最初の開催地は首都・モスクワではありませんでした。さて、どこだった？

- ① サンクトペテルブルク
- ② ハバロフスク
- ③ ユジノサハリンスク



これができるば あなたもサミット博士！

G8横断ウルトラクイズ



【イタリア】

イタリアは北海道洞爺湖サミットに続く、2009年のサミット開催国です。すでに開催場所も決まっています。さて、次回の開催地はどこでしょう？

- ① シチリア島
- ② マッダレーナ島
- ③ コルシカ島



【米国】

第1回サミットに出席の米大統領は、大統領選で選ばれたことはありませんでしたが、93歳165日と米大統領としては最長寿記録を更新しました。さて誰でしょう？

- ① レーガン大統領
- ② フォード大統領
- ③ カーター大統領



【英国】

2005年の英国でのサミットの際、当時のブレア首相は議長ながら、会議を中座するしかありませんでした。さて、その理由は？

- ① 自身の腹痛
- ② 夫人の出産
- ③ テロ



【フランス】

サミット開催のきっかけは石油ショック。当時のフランス大統領が開催を提唱しました。さて、最初にサミットが開かれたフランスのお城はどこ？

- ① シャンティイ城
- ② ランブイエ城
- ③ シャンボール城

